

2026年度事業計画書（概要）

部署名： _____ 短期大学

重点項目 (最低3つ最大5つ)	1.	戦略的學生募集活動の充実
	2.	教育の質の向上を目指した取組の継続
	3.	学生支援の充実と学修・生活環境の整備
	4.	地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実
	5.	地域課題解決に向けた取組

重点項目1.

重点項目名	戦略的學生募集活動の充実	
事業の種類①	既存事業の継続・改善	
事業の種類②	中期計画の実現	
事業目的 当該年度目標 実行計画 実施内容	<p>本事業は5カ年計画の2年目にあたる。社会情勢の動向や、短期大学に求められるニーズを踏まえ、戦略的な学生募集を継続することを目的とし、2025年度から取り組んでいる山梨県および近隣県における社会状況の変化に対応した入試改革を継続的に進める。2025年度の導入した新たな入試制度に加え、既存の入試制度の改善も視野に入れる。その上で、一層の高大接続の強化と中学生対象の広報活動の充実を試みる。</p> <p>(中期計画に記載した2026アクションプラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エビデンスに基づく学生募集活動を企画し実施する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関わる選択授業における連携事業を検討する ③ 中学校における進路・キャリア教育と連動した広報活動の内容を検討する ④ 高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習のオンライン化を促進する 	
最終目標	18歳人口の減少を踏まえた中でも、多様性を持った志願者の募集と地域と密着した魅力発信を推進し、入学者定員を確保する。	
当該年度	5ヶ年計画	2年目

重点項目2.

重点項目名	教育の質の向上を目指した取組の継続	
事業の種類①	既存事業の継続・改善	
事業の種類②	中期計画の実現	
事業目的 当該年度目標 実行計画 実施内容	<p>本事業は5カ年計画の2年目にあたる。教育の質の向上を図ることを目的とし、卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続し、真に社会に貢献する専門職像を明確にしたうえで、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する。また、外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、アクティブ・ラーニングの充実を図るとともに、FD活動を通じた授業改善を継続する。学習者本位の学修の実現や効果的で質の高い教育の実現を目指すためにICTの利活用を一層推進し、2024年に認定された「DAILIES（数理・データサイエンス・AI教育プログラム）」の計画的運営とプログラムの充実及び学生個人用のノートパソコンの携帯化を行う。本学認定資格や履修証明プログラム等の学修歴証明のデジタル化を拡充する。また、年度内のPCの一部撤去に向けて、学内のICT環境の見直しや改善、教室の整備を行う。</p> <p>(中期計画に記載した2026アクションプラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ FD活動を通して授業改善を継続する ⑤ BYODの推進、ICT環境の改善及び整備を図る 	
最終目標	高等教育が目指すものを踏まえながら、専門職養成としての教育の質を向上させ、真に社会に貢献する専門職としての知識・実践力・総合的人間力を学生が身に付ける。	
当該年度	5ヶ年計画	2年目

重点項目3.			
重点項目名	学生支援の充実と学修・生活環境の整備		
事業の種類①	既存事業の継続・改善		
事業の種類②	中期計画の実現		
事業目的 当該年度目標 実行計画 実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の2年目にあたる。学生の心身の健康・安心安全・多様性等に配慮した学生支援の充実を図ることを目的に、学修・生活環境を整備する。これまで実施してきた入学時スクリーニング調査（UPI）の活用の体制を継続し、全学一斉（食物栄養科・保育科・専攻科保育専攻）の防災訓練を継続し、これまでの振り返りから改善していく。多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、障がい学生支援に向けた体制整備と支援の実施から、実践事例を積み上げていく。「高等教育の修学支援制度」「自立支援制度」「専攻科特待生制度」等の修学支援新制度の活用を継続する。さらにSA制度を活用したピア・サポート制度の充実、学友会を中心とした課外活動の実施体制を学生の状況に合わせて見直しを行う。学生参画による自己点検・評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する。</p> <p>（中期計画に記載した2026アクションプラン）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 心身の健康に関わる支援体制のPDCAを確立しさらに充実させる ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の見直し・改善を継続する ③ 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、出口支援に向けた体制の拡充を図る ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動の振興を継続する ⑤ 修学支援新制度の活用を継続する ⑥ 学生参画による自己点検・評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する 		
最終目標	学生が健康に、安心して学生生活を送れる体制を維持する。		
当該年度	5	ヶ年計画	2
重点項目4.			
重点項目名	地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実		
事業の種類①	既存事業の継続・改善		
事業の種類②	中期計画の実現		
事業目的 当該年度目標 実行計画 実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の2年目にあたる。学生の自己実現を目指し、地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実を図ることを目的とした就職キャリア支援を継続する。また、卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動において連携可能な体制を強化する。卒業生へのキャリア支援についても継続推進する。</p> <p>（中期計画に記載した2026アクションプラン）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する 		
最終目標	学生の自己実現につながる就職支援を行う。		
当該年度	5	ヶ年計画	2

重点項目5.			
重点項目名	地域課題解決に向けた取組		
事業の種類①	既存事業の継続・改善		
事業の種類②	中期計画の実現		
事業目的 当該年度目標 実行計画 実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の2年目にあたる。専門職養成機関として、地域課題解決に向けた取組を継続的に実施する。</p> <p>地域と連携した教育・研究の取組を推進するとともに、地域課題に関する共同研究を開始する。これまで締結してきた自治体、企業等との連携協定に基づき各種事業を実施するとともに、新規に自治体・企業等との連携を進める。ホームカミングデイ事業等を通して、専門職団体と連携しながら、食と健康、保育・教育・福祉の分野における卒業生の学び直し・専門職の学び直しの機会を提供する。地域住民に向けた学びの機会となる公開講座等について、ニーズとシーズの観点から講座のあり方を見直し、専門職養成の知見を活かした講座の提供体制を再整備する。地域に向けた情報発信強化のため、地域連携研究センターのICT環境を整備するとともに、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う。</p> <p>① 地域課題に関する共同研究を継続する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を拡充するとともに、新規に自治体・企業等との連携を継続する ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供を継続する ④ 専門職養成の知見を活かした公開講座の提供を継続する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う</p>		
最終目標	<p>本学教職員が地域ニーズを理解し地域に貢献し、学生が真に社会に貢献する専門職となっていくための教育・研究活動の機会を増やす。</p>		
当該年度	5	ヶ年計画	2 年目